

マイク・イケダ

Mike IKEDA

所属：日本製紙クレインズ→古河電工

ポジション：FW

生年月日：1967年6月14日

出生地：カナダ

【プロフィール】 日系人プレーヤー。1985-1986シーズンからAJHLのカルガリー・カナックスでプレー。1989-1990シーズンからはブリティッシュ・コロンビア大学で3シーズンプレーした。173cmと上背には恵まれていなかったが突進力が評価されていた。日本製紙クレインズで2シーズンにわたってプレーした後、1シーズンのブランクを経て、トライアウトを受けて古河電工入りを果たした。古河退団後はECHLなどでプレーをし、現役引退後は、ジュニアチームの監督やスカウトなどを務めた。

【レビュー】 ひたすら一生懸命やる、真面目な選手でした。寂しがり屋で、ホームシックになり泣いていることもありました。他の日系人と性格が合わなくて孤立していましたが、日本人に近い日系人でした。

大学時代のプレーはすごかったらしいのですが、膝を故障して手術をしたことが響いていたのか経歴ほどのプレーはなかったです。スキルがあるタイプではなく、ドライブしてゴールに向かって行く直線的なプレーヤーでした。（評：日本製紙時代・嶋貫薫）

派手なビックヒットやスコアを積み重ねる選手ではありませんでした。しかし、経験値が豊富で、しっかりした考え方を持ったスマートな選手で、やるべきことはしっかりやって、自分を犠牲にして、チェックラインとしてチームのために尽くすタイプでした。性格も落ち着いていて、兄貴分的存在でした。

誰もが1つ目や2つ目でプレーするわけではなく、3つ目や4つ目にも役割があります。でも日系人や外国人の助っ人にはメンセットでのプレーが求められますから、その点がイケダにとってはマイナス面になったかもしれません。（評：古河電工時代・春名真仁）

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ										プレーオフ				
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)		
1994-1995	第29回	日本製紙クレインズ	4位	6	前後期各3回総当たり	4位※	23	1	6	7	7 / 14	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
1995-1996	第30回	日本製紙クレインズ	5位	6	前後期各4回総当たり	5位※	28	10	4	14	14 / 28	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
1997-1998	第32回	古河電工	5位	6	8回総当たり	5位	40	4	7	11	12 / 45	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
						計	91	15	17	32	33 / 87	計	-	-	-	-	- / -	

※第29、30、38回は前後期制のため、前後期合計による順位

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

ラデック・ガルドン

Radek GARDON

所属：古河電工

ポジション：FW

生年月日：1969年4月19日

出生地：チェコスロバキア（現チェコ）

【プロフィール】 チェコのトップリーグであるエクストラリーグ（チェコスロバキア時代は連邦リーグ）のクラドノでプレー。1993-1994シーズンではプレーオフの最多アシストと最多ポイントをマークしてチームの3位進出に貢献した。翌シーズン（1994-1995）のドイツリーグでのプレーを経て古河電工入りした。チェコ代表（チェコスロバキアを含む）の経験はないもの、ジュニア代表（U20）として、1987-1988と1988-1989の2回の世界ジュニアU20選手権に出場。2回目の時に銅メダルを獲得した。世界ジュニア通算14試合3ゴール4アシスト7ポイントをマークしている。古河退団後もクラドノなどでプレーした。現役引退後はスイスのジュニアチームでコーチなどを務めた。

【レビュー】 この世界で、私はやっていけるのかと思ったくらいスキルが非常に高く、他の選手よりも一段上のレベルでした。ガルドンのシュートを練習で受けることで、絶対に成長できる、上手くなれると確信していました。彼のシュートは低いシュートを放っているようで、肩口に飛んできました。他の選手は狙ったところにブレードが上がってきますが、ブレードの開き具合や振り幅と関係なく肩口に来たので、止めにくかったです。それと独特のワнтаイマーショットがありました。ワнтаイマーは叩くモーションが見えますからGKはそれに備えることはできます。しかし、彼は叩くのではなく、少し引いてそのまま打つ、レシーブと同時に打つ感じで、レシーブだからワнтаイマーが来ないと思わせた瞬間にシュートが来ました。

今でしたら、世界ジュニア選手権でMVPを取れる選手は間違いなくNHL入りしていると思います。でも時代ですかね。当時と今ではルールも違います。今はフッキングやインターフェアなどに対して厳しい時代です。また当時はある程度、体が大きくないとNHLでプレーするのが難しい時代でした。ガルドンが世界ジュニア選手権でMVPを獲得したと聞いて、逸材であることは間違いのないと思いました。

私生活では日本語をすごく理解していて、聞くだけではなく話すことも難なくでき、会話は日本語でした。来日して1、2年でチェコ人がこんなに日本語をしゃべれることにびっくりしました。

【日本リーグアワード】 ベスト6：第30回

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ				
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
1995-1996	第30回	古河電工	4位	6	前後期各4回総当たり	4位※	40	18	30	48	19 / 38	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
1996-1997	第31回	古河電工	6位	6	6回総当たり	6位	29	11	16	27	6 / 12	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
1997-1998	第32回	古河電工	5位	6	回戦制	5位	40	21	32	53	16 / 53	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
1998-1999	第33回	古河電工	6位	6	8回総当たり	6位	35	15	15	30	9 / 18	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
						計	144	65	93	158	50 / 121	計	-	-	-	-	- / -

※第29、30、38回は前後期制のため、前後期合計による順位

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

ヤン・クルーリッシュ

Jan KRULIS

所属：古河電工

ポジション：DF

生年月日：1969年10月3日

出生地：チェコスロバキア（現チェコ）

【プロフィール】 チェコ時代はトップリーグのエクストラリーグ（チェコスロバキア時代は連邦リーグ）のクラドノやスパルタ・プラハなどでプレー。ラデック・ガルドンとはジュニア時代からチームメートであった。オリンピックや世界選手権の出場経験はないもの、チェコ代表でのプレー経験もある。古河電工退団後は、古巣のクラドノを始め、オーストリアやイギリスのEIHL、ハンガリーのチームなどでプレーした。

【レビュー】 スキンヘッドで怖い顔つい選手が来たなと思ったほどでした。ヤンクル（クルーリッシュの愛称）はやんちゃなチェコ人で、ちょっととっばい感じです（笑）。当時は喫煙する選手がいましたが、（ラデック・）ガルドンや（マイケル・）マードル、（オタカー・）ベイボダコーチは吸いません。チェコ人はタバコを吸わない真面目だと思っていたのですが、彼は吸っていて、タバコ場にもいつもいる印象でした。

DFとして身長は高くなかったですが、体は強くてマッチョ。チェコ人の器用なイメージとは異なり、ガチとした硬いタイプで、シュートも強かったです。もちろんパワープレーにも起用されますし、ゴール数自体は多くはなかったですが、要所で起点になって得点源になる選手でした。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ								プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
1998-1999	第33回	古河電工	6位	6	8回総当たり	6位	40	4	17	21	40 / 109	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
						計	40	4	17	21	40 / 109	計	-	-	-	-	- / -

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

第1版：2026年3月15日・記

グレッグ・ビュキャナン

Greg BUCHANAN

所属：古河電工

ポジション：DF

生年月日：1973年12月15日

出生地：カナダ

【プロフィール】 日系人プレーヤー。古河電工入りする前、1993-1994シーズンから4年間、ユニオン大学でプレー。72試合3ゴール11アシスト14ポイントをマークしている。ユニオン大学入学前はBCJHLでプレーした。ちなみに、ユニオン大学アイスホッケーチームは1904年に創設されたNCAAの名門チームで、NHLや代表チームレベルの選手を多数輩出している。

【レビュー】 体は大きく、顔はイケメンでした（笑）。普段は優しい、落ち着いた感じでした。プレーは派手なDFではなく、スマートな堅実・堅守のDFでした。

バッキー（ビュキャナンの愛称）も年齢が若かく、年齢の近い（高橋）朋成をはじめチームメイトとも仲良くやっていた印象があります。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)		
1997-1998	第32回	古河電工	5位	6	8回総当たり	5位	31	1	1	2	18 / 36	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
1998-1999	第33回	古河電工	6位	6	8回総当たり	6位	27	0	5	5	20 / 48	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
						計	58	1	6	7	38 / 84		計	-	-	-	-	- / -

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

第1版：2026年3月15日・記

マイケル・マードル

Michal MADL

所属：古河電工

ポジション：DF

生年月日：1966年11月2日

出生地：チェコスロバキア（現チェコ）

【プロフィール】 チェコスロバキアのトップリーグである連邦リーグのクラドノでプレー。1985-1986シーズンにはチェコスロバキアU20代表として、世界ジュニアU20選手権に出場し、7試合2アシスト2ポイントをマークした。古河電工入りする前の1993-1994シーズンから2シーズンはデンマークでプレーした。古河退団後は、クラドノに復帰したのを始め、オーストリアリーグのリンツやアジアリーグのハルラなどでプレーした。

【レビュー】 チェコ人の器用さがないわけではないのですが、大きい体を生かし、1対1はもちろんのこと、フェンス際も強く、ガッチとしたDFらしいDFでした。当時はワンピーススティックが出始めた頃で、マードルはまだ木製スティックを使っていたと思います。今みたいにシャフトをしならせて道具の特性を生かしたシュートではなく、パワーがないと速いシュートが打てない時代でした。手首とパワーが強い選手のシュートは速かったです。そんな中、彼のシュートは速く、特にバッティングシュートはすごかったですね。

氷上ではガチガチ戦う選手でしたが、オフアイスでは、温和で物静かでした。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ				
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
1995-1996	第30回	古河電工	4位	6	前後期各4回総当たり	4位※	40	13	18	31	35 / 78	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
1996-1997	第31回	古河電工	6位	6	6回総当たり	6位	30	1	12	13	20 / 48	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
1997-1998	第32回	古河電工	5位	6	8回総当たり	5位	40	3	10	13	23 / 75	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
						計	110	17	40	57	78 / 201	計	-	-	-	-	- / -

※第29、30、38回は前後期制のため、前後期合計による順位

G：得点／A：アシスト／P：ポイント